

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
学校教育目標・教育方針 ①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>35%</td></tr> <tr><td>②</td><td>65%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	35%	②	65%	③	0%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価が教職員、保護者、地域ともに90%を越え、保護者においては「そう思う」の割合が12ポイント上昇した。</li> <li>・学校運営協議会の承認のもと学校教育目標や教育方針を作成し、PTA本部会や運営委員会でも理解を得ながら教育活動を行っていることの成果と考える。</li> <li>・保護者や地域のニーズを更に聞いていける工夫が必要である。</li> </ul>
	評価結果	割合														
	①	35%														
	②	65%														
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															
児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会における熟議を深化し、広く発信する。</li> <li>・学校公開日等の行事におけるアンケートにC4thを利用するなどして、気軽により多くの意見を聞ける場面を設ける。</li> </ul>													
保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>34%</td></tr> <tr><td>②</td><td>61%</td></tr> <tr><td>③</td><td>6%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	34%	②	61%	③	6%	④	0%	⑤	0%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドデザインだけではどのような現在の課題やニーズがあるか見えないので、それも記載されたものにしていくと、より説得力が増すと思う。理想と現実にどんなギャップがあるか明確にすると良い。</li> <li>・校長先生も地域の人々と積極的にコミュニケーションをとっており、反映されていると思う。</li> <li>・安全だけでなく、独自性のある方針もあった方がよい。</li> <li>・地域の評価結果から、地域の関心の高さを感じる。</li> </ul>	
評価結果	割合															
①	34%															
②	61%															
③	6%															
④	0%															
⑤	0%															
地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<table border="1"> <tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>48%</td></tr> <tr><td>②</td><td>52%</td></tr> <tr><td>③</td><td>0%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価結果	割合	①	48%	②	52%	③	0%	④	0%	⑤	0%		
評価結果	割合															
①	48%															
②	52%															
③	0%															
④	0%															
⑤	0%															

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針 ②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度と比べ、肯定的評価の中でも「そう思う」の割合が教職員で14ポイント、児童は9ポイント、保護者は6ポイント、地域も3ポイント上昇した。</li> <li>・各学級における意識づけや、学校ホームページ等、様々な場面を通じてこまめに発信してきた成果が表れはじめたと考える。</li> </ul>
	児童	私は、学校教育目標を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な教育活動が学校教育目標や教育方針に基づいて行われていることについて、折に触れ理解を促すための発信を行っていく。</li> </ul>
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページをはじめ、発信の努力は素晴らしい。</li> <li>・教職員がどれだけ理解しているかについては見えない部分である。</li> <li>・分かりやすく子供たちが理解しやすい。</li> <li>・教職員と児童の評価が高いのは、第一の安心材料だと思う。</li> </ul>
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①そう思う</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>②だいたいそう思う</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>③あまりそう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>④そう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤わからない・無答</td> <td>0%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①そう思う	31%	②だいたいそう思う	69%	③あまりそう思わない	0%	④そう思わない	0%	⑤わからない・無答	0%	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価が教職員・児童共に上昇し、特に児童における「そう思う」の割合は昨年度と比べて12ポイント上昇した。</li> <li>・それぞれの教職員が授業を工夫すると共に、学校課題研修等を通じ、職員が協力して「主体的・対話的で深い学び」を目指して研究を重ねてきた成果も表れていると考える。</li> </ul>
	評価項目	割合														
	①そう思う	31%														
	②だいたいそう思う	69%														
③あまりそう思わない	0%															
④そう思わない	0%															
⑤わからない・無答	0%															
児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	<table border="1"> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <td>①そう思う</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>②だいたいそう思う</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>③あまりそう思わない</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>④そう思わない</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>⑤わからない・無答</td> <td>1%</td> </tr> </table>	評価項目	割合	①そう思う	78%	②だいたいそう思う	19%	③あまりそう思わない	2%	④そう思わない	1%	⑤わからない・無答	1%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き一人一人の教職員が児童への理解を更に深めながら研修を重ね、工夫した授業を行うと共に、「一人残らず学ぶ教室」を実現できるよう、教職員同士が学び合う研修を行っていく。</li> </ul>	
評価項目	割合															
①そう思う	78%															
②だいたいそう思う	19%															
③あまりそう思わない	2%															
④そう思わない	1%															
⑤わからない・無答	1%															
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の様子などもこまめにHPで配信されていて、授業の工夫がよく見られる。</li> <li>・書画カメラや大型モニター等ICT機器をうまく活用し、理解しやすい授業になっているように思う。</li> <li>・教職員同士が互いの工夫をどの程度共有できているかを知りたい。</li> <li>・児童の肯定的評価が高いことを考えると、教職員はもっと自信をもって良いと思う。</li> </ul>													
地域																

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価は昨年度と同程度であるが、「そう思う」の割合は、教職員で5ポイント、児童は2ポイント、保護者は6ポイント、地域は4ポイント上昇した。</li> <li>・外部からの来校者には、授業中の子供たちの落ち着いた様子にお褒めのことばをいただくことが多いが、保護者からは「学校の様子を見る機会が少ないので明確な回答ができない」との意見もあった。</li> </ul>
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良いところを見つけ「褒めて伸ばす」ことを継続し、児童の自己肯定感をさらに高めていく。</li> <li>・落ち着いた中で積極的な学習ができる、「一人残らず学ぶ教室」の実現を目指す。</li> <li>・一人一人が精神的に安定して授業に取り組めるよう、教育相談的理解も更に深めていく。</li> </ul>
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の落ち着いた様子は学校HPからもよく伝わる。</li> <li>・実績が上がっているのも全体的に評価も上がっているのだと思う。</li> <li>・授業中は一人ひとりよく取り組んでいる。</li> <li>・教職員は子供たちと一緒に考え行動している。</li> <li>・児童の「そう思わない」の3%が気になる。</li> <li>・評価結果が学年別になっていると、より判断しやすい。</li> </ul>
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価が97%を越えている。その中でも「そう思う」の割合は昨年度と比べ教職員で15ポイント、児童は2ポイント、保護者は7ポイント上昇した。</li> <li>・昨年度同様、児童理解や問題行動の教職員間での共有や組織的な対応を行っているが、更に対応を迅速に行えるよう努力した成果と考える。</li> </ul>
	児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人員不足の中でも対応の遅れや漏れがないように、今後も報連相を徹底し、組織的な対応を行っている。</li> <li>・更に率先垂範を意識して、生徒指導・教育相談を行っている。</li> </ul>
	保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が誠実に子供たちと向き合っている様子がわかる。引き続きご指導お願いしたい。</li> <li>・児童の心を大切に言葉がけをお願いしたい。</li> <li>・トラブルがあれば、当事者全員にしっかりと聞き取りしている姿が見受けられた。</li> <li>・叱り方や指導の仕方等を教職員がどのようにしているのかは見えない。</li> <li>・保護者の信頼度の高さを感じる。</li> </ul>
	地域			

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	<p>29% 65% 6%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価は昨年度と同程度であるが、「そう思う」の割合は、教職員で7ポイント、児童は4ポイント、保護者は8ポイント、地域は6ポイント上昇した。</li> <li>・「今月の生活目標」や「学級目標」「めあて」などを意識づけできていると共に、児童自身もめあてを達成しようという意欲を高めている。</li> </ul>
	児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>55% 38% 6%</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導委員会で毎回確認している、教職員の「共通理解・共通行動」を今後も意識し、徹底させて生徒指導・児童理解を行っていく。</li> <li>・できていることを当たり前と考えるのではなく、当たり前できていることを改めて褒めて伸ばす指導を行っていく。</li> </ul>
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>40% 55% 5%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい決まり事もきちんと守っている児童が不快な思いをしないようにご指導願う。</li> <li>・「朝の会で目標を意識させ、帰りの会で振り返る」を繰り返しているの、児童たちに意識づけられていると思う。</li> <li>・児童はルールをよく守っているように思う。</li> <li>・保護者や地域の「そう思う」の割合がやや低いことについては、児童に対する期待の高さの現れと思う。</li> </ul>
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	<p>31% 65% 4%</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<p>12% 71% 18% 0% 0%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価は、昨年度と比べて教職員は11ポイント、保護者は3ポイント上昇したが、児童はマイナス2ポイントであった。地域は同程度である。</li> <li>・あいさつはできるが、「すすんで」というところに課題がある。</li> <li>・来校者には「あいさつが良い」と褒められることが多い。</li> <li>・会釈ができる児童も多いのだが、会釈が「すすんであいさつ」としてとらえられていないことによる評価の低さもある。</li> </ul>
	児童	私は、すすんであいさつをしている。	<p>57% 26% 14% 1% 2%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、教職員の率先垂範を継続していく。</li> <li>・道徳の授業をはじめ、折に触れあいさつの大切さを啓蒙しながら、あいさつのメリット、気持ちよさを意識させ児童に実感させていく。</li> <li>・児童のあいさつが、地域の親善大使としての役割を果たしていることを意識させる。</li> </ul>
	保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<p>23% 52% 21% 0% 4%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつの意味をしっかりと教育すると、社会人になってとても意義があると思う。</li> <li>・ほとんどの児童は元気にあいさつしてくれる。</li> <li>・朝あいさつの声が小さい児童も、午後には元気な声で声がけしてくれる。</li> <li>・通路での出会いの時あいさつがよくできている。全員があいさつができると素晴らしいが、100%は難しい。</li> <li>・登下校の際などでの地域の方へのあいさつや会釈は素晴らしい。（止まってくれた車の運転手さんなどへのお礼ができる）</li> <li>・鶴二小オリジナルのあいさつがあると、楽しんでする子も増える気がする。</li> </ul>
	地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<p>24% 31% 41% 0% 4%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安全 全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価は教職員で6ポイント、児童は2ポイント、保護者は6ポイント上昇した。</li> <li>・朝の検温、体調チェックをC4thにて行うことにしたので、3学期に登校指導を再開することができた。</li> <li>・交通指導員やスクールガード、保護者の皆様の協力を得て児童の安全が見守られているが、人数が減少しているため人員確保が課題である。</li> </ul>
	児童	安全に、安心して登下校できる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全や「いかのおすし」をはじめとした不審者対策についての啓蒙を継続していく。</li> <li>・無理のない範囲でより多くの人に地域における児童の安全を見守っていただけるよう、学校運営協議会と協力しながら協力要請していく。</li> <li>・「地域と共にある学校」として、更に地域のつながり、協働体制を進めていく。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校に比べるとスクールガード以外にも地域の方々が見守っているのが感じられる。</li> <li>・登校は班で登校し、列をしっかりと守っている。下校もいたずらなど見られず安心できる行動がとれている。</li> <li>・スクールガードの高齢化と減少傾向があり、今後増やす方法を考える必要がある。</li> <li>・地域の回答からも保護者等の協力を求めていることが伺える。保護者も協力し、体制の構築を図っていきたい。</li> <li>・スクールガードの一員として、高評価を嬉しく思う。</li> </ul>
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	



鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果について の分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての対象において高い肯定的評価を得ている。</li> <li>・昨年度と比べて保護者の「そう思う」の割合が13ポイント上昇した。</li> <li>・ホームページを毎日楽しみにしてくれている保護者の声もよく聞かれるようになった。</li> <li>・行事の参観がより多くできるようになったことに対し、地域や保護者からの感謝の声も上がっている。</li> </ul>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者との協力により、環境的にも開かれた学校として一歩するめることができ、児童も地域や保護者への感謝の気持ちを高めている。</li> <li>・更に、地域の人々の活動を直接見たり聞いたり触れ合ったりする機会を増やしていく。</li> </ul>
	保護者	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校からも学校HPについて良い評価を聞いている。</li> <li>・引き続き、発信と連携をお願いしたい。</li> </ul>
	地域	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての対象において高い肯定的評価を得ている。</li> <li>・昨年度と比べて保護者の「そう思う」の割合が13ポイント上昇した。</li> <li>・応援団の方からは作業中に子供たちからお礼の声をかけられることが多くなったとの感想もあった。</li> </ul>
	児童			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子供たちのために」との保護者や地域の思いがたくさん感じられた1年であったが、更にできることはもっとやりたいと考えてくださっていることもわかった。地域人材の活用を更に進めるために、学校運営協議会の協力を得ながら方策を練り、実現させていく。</li> </ul>
	保護者	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域の方が学校に気軽に来校できない雰囲気があったが、少しずつ開かれた学校へと近づいてきていると思う。</li> <li>・昨年度よりも高評価で、鶴二小の強味だと思う。連携で苦労はあると思うが、「すべては子供たちの為に」のベクトルをそろえ、共に認めあってやっていきたい。</li> <li>・現在の協力者の皆さんの高齢化が目立つ。今後は鶴二小卒業児童の保護者の皆さんが協力者となってくださると嬉しい。</li> </ul>
	地域	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果について 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての対象において肯定的評価が90%以上の高評価となった。</li> <li>・肯定的評価の中でも「そう思う」の割合は、昨年度と比べて教職員で50ポイント、保護者は27ポイント、地域は7ポイント上昇した。</li> <li>・児童の清掃への取組を見た外部からの来校者から、一生懸命取り組む姿を褒めていただくことも多かった。</li> </ul>
	児童	私は学校をきれいにしようと心がけ、清掃をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一生懸命取り組む姿を更に褒めて伸ばしていく。</li> <li>・普段の清掃に加え「気づき清掃」を更に奨励し、清掃名人を増やしていく。</li> <li>・清掃の奨励と同時に、ごみを落としたり汚したりしない意識、汚れやごみに気づいたときにすぐに行動できる意識を高めていく。</li> </ul>
	保護者	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校応援団をはじめ、地域の人たちも積極的に参加して、きれいになっている。</li> <li>・道路へはみ出した木枝もなくなり、安全になった。</li> <li>・「気づき清掃」の推進を是非お願いしたい。</li> <li>・よくできている。</li> <li>・地域の協力と教職員の意識のおかげと考えている。</li> </ul>
	地域	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れ、環境美化に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二 小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない  
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革 ⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の活用や、教職員の協力体制、環境の整備等様々な工夫により、心身ともに健康な状態で教育活動が推進できるよう働き方改革への取り組みを進めている。</li> <li>・昨年度より始まった調査項目であるが、調査内容に関する理解が深まったこともあり肯定的評価が上昇し100%となった。</li> </ul>
	児童		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員は何のための働き方改革であるかをよく理解し、児童との関りを更に深めたり、教材研究を更に進めたりすることができている。今後もこのような働き方改革を全職員で一丸となって推進していく。</li> </ul>
	保護者		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等、折に触れ学年を越えた協力体制を見ることができた。</li> <li>・授業参観をして、思った以上にICT機器の活用が進み、児童も機器に慣れているように感じた。今後も推進できると良い。</li> <li>・すばらしい。教職員が生き生きしているのもこのおかげだと思う。引き続きよろしく願いしたい。</li> <li>・働き方改革への取り組みを各自の努力に加え、学校全体で推進して欲しい。</li> </ul>
	地域		<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	